

当院職員における麻疹、風疹、水痘、ムンプスのワクチン接種状況について

鈴木 恵以子 ,高橋 敏夫 ,斎藤 敏晴 (医療法人社団神鋼会 神鋼病院)

「はじめに」 ワクチンにより感染防止可能なウイルス性疾患は、麻疹・風疹・水痘・ムンプス・B型肝炎・インフルエンザ等がある。医療従事者が抗体陰性の場合、ワクチン接種が望まれているが、諸経費等が問題となり多くの病院において全疾患に対しワクチン接種は行われていない。今回、当院感染対策チームが中心として、職員の麻疹・風疹・水痘・ムンプスの抗体陰性者に対しワクチンを接種するに至ったので、その経緯・結果等について報告する。

「経緯・方法」 当院のワクチン接種の経緯は、1995年より定期採用者で自己申告者に対し水痘・ムンプスの抗体検査を実施し、抗体陰性者にはワクチン接種(希望者)を、更に1998年より内科・産婦人科・小児科関係者には麻疹・風疹を追加した。2000年より定期採用者全員に四種抗体検査を実施し、抗体陰性者にワクチン接種(希望者)を実施している。2003年11月時点において、抗体未検査職員(271人)に対し抗体検査(麻疹：HI法、風疹：HI法、水痘：CF法、ムンプス：HI法)を実施し、全額病院負担で

ワクチンを接種(希望者)していく予定である。

「結果」 抗体検査を実施した職員245人中、抗体陰性者は麻疹22.1%(54/244)、風疹9.3%(22/237)、水痘27.1%(61/225)、ムンプス47.3%(106/224)であった。ワクチン接種希望者は、麻疹77.4%(41/53)、風疹72.7%(16/22)、水痘76.7%(46/60)、ムンプス79.8%(82/103)であった。諸経費は、抗体価検査費用約40万円、ワクチン費用は約60万円弱であった。

「まとめ」 医療従事者にワクチン接種が望まれる理由として、自分自身を感染から守るため、患者や他の医療従事者への二次感染を防ぐため、感染が流行した場合の病院機能を維持するため、損失回避などが挙げられる。今後、抗体陰性者に対しては、ワクチン接種の必要性を理解してもらうと同時に、ワクチン接種率を高めていきたいと考えている。

連絡先 (078)261-6711 内線2604